

◆開催報告◆

【MIA 緊急開催】

今だからこそ わたしたちに できること

～新型コロナウイルスの影響から考える 多様性のある社会とは～

今私たちにできることは何か
多様な方法で できることから
一緒に考えていきませんか？



今回は緊急企画として、「東京都外国人新型コロナ生活相談センター（TOCOS）」の統括コーディネーターを務める新居みどりさんをお招きし、TOCOS の取組や、外国人の皆さんが今どのようなことで困っているか、外国人が日本で暮らす中で直面する「3つの壁」とは何かなど、具体的な事例を挙げて紹介していただきました。新居さんのお話は分かりやすく、参加者からの質問にも明確に答えてくださり大好評でした。紙面を借りて御礼申し上げます。

「3つの壁」は、「法律の壁・言葉の壁・こころの壁」ですが、「言葉の壁」には「やさしい日本語」がとても役に立つことが分かりました。TOCOS では、「やさしい日本語」を含めた14言語で外国人からの相談に対応していますが、相談の約半数を「やさしい日本語」で対応しているそうです。MIA でも2018年度から港区の委託を受け、「やさしい日本語」を使って外国人と交流する取組を進めています。この取組は、言葉の壁だけでなく、こころの壁の解消にもつながっています。

※「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を外国人に配慮した、分かりやすい簡単な日本語のことです。（例：高台に避難してください。→高いところへにげてください。）

新居さんは、「外国人と日本人が同じ地域の住民として出会い、活動する場」が地域の国際交流協会であり、「支援する側、される側」ではなく、共に生きていく住民同士としてつながる「相互共助」が大切であると話されました。

最後に、「問題が複雑になってしまう前に、誰かに相談できていたらと思う。友だちが一番大切かな。」と笑顔でおっしゃいました。

【イベント概要】

日時：2020年6月13日(土) 午後2時～3時30分
場所：オンラインシステムによる遠隔開催
(Zoom ウェビナー)
ゲスト：NPO 法人 国際活動市民中心(CINGA)
新居みどり さん
参加者：53名

▼参加者の声(一部抜粋)

- ・TOCOS の素晴らしい活動内容に感銘を受けました。
- ・オンラインだからこそ距離の壁を越えて出来ることがあると感じております。
- ・出かけなくても参加できるオンラインは良かったです。今後もオンラインイベントが増えていくことを期待します。
- ・まずは、普段から小学校など、知り合いのママに自分から声をかけていくようにしたいと思います。
- ・「やさしい日本語」のありがたさは、自分が外国語を学んだときのことを考えれば、よくわかりますね。
- ・MIA のミーティングでも、このように ZOOM 機能を使って行うのも良いですね。
- ・双方向的なディスカッションの企画、また、参加者に外国人住民を交える工夫もしていけたらと思います。
- ・Thank you for a very interesting and informative presentation. (とても興味深く有益なプレゼンテーションをありがとうございました。)
- ・Thanks for all. Nowadays digital world so easy to communicate everyone by online. (ありがとうございました。今日のデジタル社会では、オンラインで誰とも簡単にコミュニケーションがとれますね。)
- ・日本人も外国人も双方に「やさしい日本語」の認識がより普及していくことが大切で、港区や MIA の貢献はとても大きいと思います。
- ・分かり易くて非常に良いセミナーでした。新しい知識を沢山得ることができました。今後もこのような情報共有の場があると嬉しいです。
- ・現下のコロナ禍の状況で「わたしたちにできること」としてぜひ行いたいのは、最もニーズの高い「経済困窮・企業経営」への対応として、外国人向けの関連の給付金申請の説明会です。その場で申請書の書き方の説明などをする場を設けると効率的ではないでしょうか？

ほかにも多くのご感想やご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました！